

■平成23年度に取り組んだ主な事業内容（一般会計）

中学校再編に関する取組み

・中学校再編の推進は町の最重要課題として取り組みました。建築工事に関しては、平成23年11月に起工式が行われ、平成24年12月の完成を目指し予定通り進捗しています。
・開校に向けては準備委員会および検討部会を随時開催し、教育課程（カリキュラム）、制服、校章・校歌、部活、修学旅行などについて協議・検討を行ってきました。

- ◆ 新三春中学校建設工事費 …………… 5億2,815万円
- ◆ 新三春中学校敷地造成、法面工事 …………… 1,247万円
- ◆ 工事設計業務委託、監理業務委託、建築確認など… 2,306万円
- ◆ 新三春中学校開校準備委員会、制服検討委員会経費… 50万円他

町有施設の修繕などに関する取組み

・公共施設の耐震化や廃校となる中学校の利活用計画は重要な課題であることから、町民代表などによる「公共施設整備方針検討委員会」を設置し、検討を行いました。平成23年度は役場、旧公民館および図書館について集中して討議し、平成24年5月に中間報告が行われました。廃校となる中学校の利活用の検討は、現在継続されています。
・三春小学校の耐震化工事は、東日本大震災を踏まえ、児童の安全・安心を確保するために耐震化計画を前倒しし、平成24年度に調査設計、平成25・26年度工事として取り組む方針としました。

・公共施設の修繕には多額の経費が必要となるため長期修繕計画の策定に取り組んでいますが、現況調査を終えた中から、町営貝山プールの改修、要田交流館大平荘の耐震化、学校などのトイレ洋式化など、計画的に取り組んでいます。

また、今後、整備すべき公共施設が多いことから、施設整備を計画的に推進するために「公有施設整備基金」を設置しました。

- ◆ 公共施設整備方針検討委員会 …………… 8万円
- ◆ 町営プール等改修工事 …………… 5,798万円
- ◆ 大平荘耐震補強事業 …………… 1,231万円
- ◆ 中妻小学校外壁改修工事・トイレ改修工事 …… 823万円
- ◆ 中妻小学校体育館耐震補強工事 …………… 1,082万円
- ◆ 公有施設整備基金積立金 …………… 4,658万円他

産業興しに関する取組み

・産業全般に亘り、原発事故によって放射線量の測定や損害賠償支援などの対応に追われ、また、自粛ムードやいわゆる風評被害などによって事業進展は滞った感が残念ながら否めません。

その中で、長年の課題であった商業核店舗のスーパーが移転開店し、町の商店街活性化は新たな局面に歩みだしました。

・市街地活性化の一助として町が所有する中町蔵の整備を行い、店舗としての活用を検討していますが、旧スーパー跡地の利活用などの課題もあるので、関係団体とともに知恵と工夫を出し合い、中心市街地の活性化には積極的に取り組んでいきます。

・企業立地関係では、町内の2企業が田村西部工業団地に進出の意向を示しており、県、町の制度を十分に活用し、支援を行っていきます。

- ◆ 企業誘致事業 …………… 1,104万円
- ◆ 緊急雇用創出事業 …………… 3,963万円
- ◆ 伝統的物産の製作継承支援事業 …………… 139万円
- ◆ 中山間地域等直接支払推進事業 …………… 7,294万円他

訪ねてみたくなる地域づくりに関する取組み

・滝桜観光対策では、原発事故によって観桜料の徴収を取りやめ、渋滞対策などは最低限の対応に留めましたが、大震災に負けない心のシンボルとして多くの人に訪れていただきました。

また、秋を彩るもみじの里づくりでは、現もみじ山西側の拡張に取り組むこととしました。

・市街地の回遊に欠かせないお城山はここ5か年にわたり整備を進めていますが、平成23年度は散策路整備などに取組み、また、各まちづくり協会などの協力のもとアジサイの植栽も進めました。城山整備の終了も間近となりました。

- ◆ 滝桜遊歩道舗装打替工事 …………… 1,049万円
- ◆ 滝桜臨時駐車場増設工事 …………… 133万円
- ◆ もみじ山整備事業 …………… 16万円
- ◆ 城山公園散策路等整備事業 …………… 1,034万円
- ◆ 三春秋まつり事業 …………… 250万円他

安全で安心して暮らせる生活環境創造に関する取組み

・生活・生産基盤向上のための道路網の整備では、太田線に着手し、継続事業の日影線を完成させました。生活道路では、まちづくり要望のあった路線などを計画的に整備することができました。また、市街地では、長年の懸案であった北町荒町線の改良に着手しました。
・町内で実施され町が支援している県事業関係は順調に進展し、国道288号三春西バイパスは平成25年3月開通を目指し工事が進められ、桜川改修事業は、地権者をはじめ関係者の協力により、改良済延長が50.7%、事業費ベースで69.1%となっています。今後も関係者の協力を得ながら円滑に事業が推進されるよう、家屋の移転対策などに積極的に取り組んでいきます。

・防災行政無線のデジタル化を図るため、役場親局の更新、難聴地区への外部スピーカーの整備など、災害時の情報伝達の迅速化に取り組むこととしました。

・防寒着、アポロキャップなど消防団員の装備品の充実を図りました。
・定住促進住宅は、㈱三春まちづくり公社を指定管理者として管理運営を委託しましたが、満室となっているなど順調に運営されています。

- ◆ 太田線測量設計業務委託 …………… 893万円
- ◆ 日影線舗装補修工事 …………… 2,649万円
- ◆ 貝山宮ノ下線道路改良工事 …………… 3,460万円
- ◆ 下舞木岩本線道路改良工事 …………… 2,385万円
- ◆ 五本木垢潜薬師道道路改良工事 …………… 3,635万円
- ◆ 清水永作線道路改良工事 …………… 1,191万円
- ◆ 道路維持工事 …………… 4,624万円
- ◆ 生活道路整備事業 …………… 1,000万円
- ◆ 根本一矢間地内防火水槽新設工事 …………… 299万円
- ◆ アポロキャップ・防寒着整備 …………… 549万円他

次世代育成に関する取組み

・人口の減少は、町の活力と経済に大きな影響を及ぼす問題です。そのため、人口の流出・減少を抑制し、定住を促進するため「定住促進計画」の作成に取り組まれました。計画した事業は、平成24年度から取り組まれることとなります。

・少子化対策事業には重点的に取組み、様々な事業を推進していますが、平成23年度には、乳幼児健診における歯科健診にフッ素塗布の導入、出産育児一時金の増額など充実を図りました。

・まほらっ子教室を継続して開催するとともに、保護者の就労などを支援するため、平成24年度から「御木沢児童クラブ」を新たに開設することとしました。

・なお、課題となっている子育て支援センターの充実、幼稚園・保育所のあり方については、継続して検討していく課題となっています。

- ◆ 子ども手当支給事業 …………… 3億1,744万円
- ◆ すくすく赤ちゃん応援事業 …………… 740万円
- ◆ 多子世帯養育支援事業 …………… 799万円
- ◆ ひとり親家庭医療費助成事業 …………… 421万円
- ◆ 乳幼児健康診査事業 …………… 328万円
- ◆ 妊婦健康診査事業 …………… 1,038万円
- ◆ 子育て支援医療費助成 …………… 4,371万円
- ◆ 放課後子どもプラン推進事業 …………… 736万円他

町民の健康増進と福祉施策の充実に関する取組み

・指定管理者による町立三春病院の経営は、入院、外来患者数とも伸び、前年度に引き続き単年度収支は黒字でした。特に、東日本大震災では、避難患者の受入、避難所での医療支援など災害時拠点病院としての役割を存分に発揮したことは特筆されます。今後も地域医療の核施設として更なる機能の充実に取り組んでいきます。

・国保医療費は前年度比△5.5%となりましたが、疾病構造に対応した施策の推進や健診受診率の向上などにより、医療費の抑制、国保財政の安定化に積極的に取り組むべき必要性があります。

・小児細菌性髄膜炎を予防するため、ヒブワクチンと小児肺炎球菌ワクチンの接種費用の無料化を制度化し、また、肺炎球菌ワクチン接種の助成を年度内に65歳以上の高齢者にも拡大しました。

・介護予防事業は前年度まで白山福祉館で実施してきましたが、大震災で施設が利用できなくなったため、「にこにこ元気塾」として各地区の交流館などで開催するよう変更しました。これにより参加者が増えるなどの効果がありました。

・地域密着型特別養護老人ホームなどの介護施設整備が計画されていましたが、事業主体の都合により遅延することとなりました。

- ◆ インフルエンザワクチン等予防接種委託 …… 2,676万円
- ◆ 成人健康診査事業 …………… 2,440万円
- ◆ 障がい福祉サービス費 …………… 2億276万円他